



■ミツシャ・マイルスキー

現代屈指のチェロ界の巨匠。自らを「世界人」と位置づけ、各地の主要ホールで演奏活動を展開。これまでにバーンスタイン、マゼール、バレンボイムといった名指揮者たち、アルゲリッチほか世界のトップ・アーティストらと共演。

©Hisao Suzuki

クラシック界の次世代を担う
3人の旗手による渾身のピアノ三重奏。

2018年9月8日(土) 15:00開場／16:00開演
郷古 廉・横坂 源・北村朋幹
ピアノ三重奏

【出演】郷古 廉(ヴァイオリン)、横坂 源(チェロ)、北村朋幹(ピアノ)
【プログラム】チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲
「偉大な芸術家の思い出に」作品50 ほか
【コンサートチケット】7,500円

郷古 廉(2013年ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝)、横坂 源(2010年ミュンヘン国際コンクール第2位)、北村朋幹(2015年リーズ国際ピアノ・コンクール第5位)のニュージェネレーション3人。

新星

クラシック新世代から、
ひときわ輝く才能をご紹介します
ライジングスターシリーズ。
新しい才能とともに、音楽堂の新たな歴史を築く。

Rising Star★

©TAKUMI JUN

オペラ界待望の若手実力派テノール。イタリア留学を経て、いよいよ本格始動!

2018年9月29日(土) 15:00開場／16:00開演
山本耕平 テノール・リサイタル

【プログラム】トスティ:君なんかもう／レオンカヴァッロ:朝／カルディッロ:カタリ ほか
【コンサートチケット】6,500円

■山本耕平

東京藝術大学大学院首席修了。約9年間のイタリア留学から本年2月末帰国。2014年二期会フランクフルト歌劇場公演《ドン・カルロ》タイトルロール、2015年二期会パルマ歌劇場公演《リゴレット》マントヴァ公爵役等に抜擢。トッパンホール、ハクジュホールでのソロリサイタルを満席にする期待の大器。二期会会員。



©Yuji Hori



©FUMI



【コンサートチケット】2日間フリーパス 8,600円／1回券 3,400円 [全席自由]

第1回 11:00～12:00／第2回 15:00～16:00／第3回 17:00～18:00
※各開演時間の30分前に開場いたします。



©Kazuhiko Suzuki



©Hisayoshi Osawa

無伴奏・デュオ・トリオで魅せる“チェロのすべて”。二夜完全別プロ。

2018年8月31日(金)・9月1日(土) 16:30開場／17:30開演
ミツシャ・マイルスキー チェロのタベ

【共演】リリー・マイルスキー(ピアノ)、サーシャ・マイルスキー(ヴァイオリン)
【プログラム】<第一夜>J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第1番
／チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲「偉大な芸術家の思い出に」作品50 ほか
<第二夜>J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲第3番／ブラームス:チェロ・ソナタ 第2番
／ショスタコーヴィチ:ピアノ三重奏曲 第2番 ほか
【コンサートチケット】15,400円



©Bernard Rosenberg

開館以前より八ヶ岳を訪れ、
音楽堂を知り尽くしたマイルスキー。
24年ぶり、待望の再来となるルイサダ。
音楽堂の歴史を彩る巨匠を聴く。

秋の
クラシック
音楽祭

心満ちる夕刻を、紡ぎ彩る室内楽の調べ。
さわやかな午前、くつろぎの昼下がり、

室内楽の歓びにふれる2日間。
高原を音楽で満たし、

調和

2018年9月15日(土)
16日(日)

自然と人と音楽が調和する
第4回 八ヶ岳チェンバー
ミュージック・コレクション

高原のパリ音楽祭 没後100年 ドビュッシー頌
～印象派・象徴派とその時代の室内楽

24年ぶりに再来。
洗練と新鮮さを失わない、巨匠のピアノイズム。

2018年9月22日(土) 15:00開場／16:00開演
ジャン＝マルク・ルイサダ
ピアノのタベ

【プログラム】ショパン:4つのマズルカ 作品24／幻想曲 作品49／
シューマン:ダヴィッド同盟舞曲集／ドビュッシー:映像 第1集、第2集
【コンサートチケット】12,300円

■ジャン＝マルク・ルイサダ

第11回ショパン国際ピアノ・コンクールで第5位入賞、併せて国際批評家賞を受賞。ドイツ・グラモフォンなどから数多くの名盤をリリース。世界的なオーケストラ、指揮者と共演。「芸術文化シュヴァイエ勲章」をフランス政府より授与された。

バッハの大家が音楽堂に降臨。
カラマツチェンバロで「伝説」を聴く。

©Yasuhisa Yoneda

2018年9月23日(日・祝) 15:00開場／16:00開演
小林道夫 チェンバロ・リサイタル

【プログラム】J.S.バッハ:フランス組曲第5番 ト長調 BWV816
／イタリア協奏曲 BWV971 ほか
【コンサートチケット】6,000円(大人)／3,000円(小・中学生)

■小林道夫

世界的鍵盤楽器奏者、指揮者、研究者としてバロック音楽に精通したスペシャリスト。ランパル、フルニエ、カラヤン指揮ベルリンフィルら歴史的な演奏家たちと共演。長年のキャリアに裏付けられた深い解釈は、高く評価されている。

1960年代、33万本のカラマツを植えたことが、
自然郷のはじまり。
この地の原点「カラマツ」を使用した
チェンバロは、音楽堂の未来を象徴する。

象徴

八ヶ岳高原音楽堂 開館30周年を記念して、地元 長野県川上村で育った樹齢110年のカラマツを使用したチェンバロが製作されました。午後のひとときに、豊かな森の中に佇む音楽堂で、森から生まれた楽器の音色に耳を澄ませてみませんか? 大人から子どもまで気軽に参加いただけるコンサートを、随時開催しています。

八ヶ岳カラマツチェンバロ・コンサート

【開催日】2018年7月22日(日)、27日(金)、29日(日)
8月2日(木)～29日(水)の毎週月～金曜日
9月9日(日)、30日(日)
10月14日(日)、28日(日)
11月4日(日)、11日(日)、18日(日)
12月9日(日)、16日(日)、24日(月・祝振)

13:15開場／13:45開演(約50分)

【演奏】鎌田菜帆 または 鈴木愛美
【コンサートチケット】1,500円(大人)
700円(小・中学生)
[全席自由]

9月15日(土)
第1回 プレリユード
～ピアノソロ
／ヴァイオリン&ピアノデュオ

【プログラム】
[ピアノソロ]ドビュッシー:前奏曲集より、喜びの島
[デュオ]ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女、
ヴァイオリン・ソナタ ほか

【演奏】正戸里佳(ヴァイオリン)、山田武彦(ピアノ)

第2回 サクソフォン四重奏

【プログラム】ラヴェル:ボレロ、ビエルネ:民謡風ロンドの主題による序奏と変奏 ほか
【演奏】ルミエ・サクソフォンカルテット
住谷美帆(ソプラノサクソフォン)、戸村愛美(アルトサクソフォン)、
中嶋紗也(テナーサクソフォン)、竹田歌穂(バリトンサクソフォン)

第3回 弦楽四重奏

【プログラム】ラヴェル:弦楽四重奏曲、ドビュッシー:弦楽四重奏曲
【演奏】西江辰郎、白井麻友(ヴァイオリン)、青木篤子(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)

9月16日(日)

第1回 歌曲 【プログラム】ドビュッシー:ボードレールの詩による5つの歌曲より、ヴェルレーヌの詩による歌曲、フォーレ:月の光 ほか
【演奏】彌勒忠史(カウンターテナー)、山田武彦(ピアノ)

第2回 ピアノ二重奏 【プログラム】ラヴェル:ラ・ヴァルス ほか 【演奏】山田武彦、三浦友理枝(ピアノ)

第3回 室内オーケストラ 【プログラム】ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲、サン＝サーンス:動物の謝肉祭
【演奏】八ヶ岳祝祭室内オーケストラ
西江辰郎、白井麻友(ヴァイオリン)、青木篤子(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)、高木綾子(フルート)、
山田武彦、三浦友理枝(ピアノ) ほか

※お席は当日ホール受付にて、グループごとの抽選となります。※曲目・内容は変更になる場合がございます。
※就学前のお子さまのコンサートへのご同伴・ご入場はご遠慮ください。※コンサートチケットはご予約後のキャンセルはできません。

ハケ岳高原音楽堂は30年前、1988年9月に開館しました。それは“始まり”ではなく、ひとつの“結実”でした。ハケ岳高原音楽堂は、荒地へのカラマツの植樹に始まった広大な自然郷で、「音楽を楽しみたい」という声から生まれた、大自然がもたらす豊かな営みの象徴と言えます。この春、地元のカラマツから新しい楽器が誕生しました。500年もの歴史をもつ、美しく繊細なチェンバロは、変わることはない感動を伝えます。音楽堂の黄金期を支えた巨匠たち、次世代を担う新星たち、このハケ岳の環境と調和する室内楽の祭典、そして新たな象徴チェンバロでお届けするクラシック音楽祭に、どうぞご期待ください。

開館30周年記念 ハケ岳カラマツ・チェンバロ誕生

樹齢110年の地元産カラマツから、日本を代表するチェンバロ製作家・久保田 彰が製作。17世紀に一世を風靡したフランドル様式に基づく厚重な造りに、カラマツの自然な木目を活かしたボディ、金箔装飾の屋根が美しい。カラマツ材がふんだんに用いられた音楽堂で、悠久と調和を奏で、高原リゾートからの文化発信を象徴する。



リゾート地からの文化発信の歴史

ハケ岳高原海の口自然郷

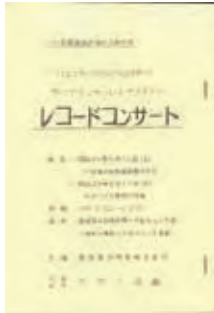


1960年代前半、治水能力さえ失った牧場跡地に、33万本を超えるカラマツを植えることから開発がスタート。



生態系を守りながらの道路の整備、樹木を保存するための植生図の作製などが進められ、大自然とふれあう高原リゾートへと成長。

レコードコンサートの開催



別荘オーナーたちが自慢のレコードを持ち寄った鑑賞会がはじまり、1974年には、音楽評論家やゲストを招いた「レコードコンサート」が開催された。

サロンコンサートのはじまり



1975年、生のコンサートを聴きたいという声から「ハケ岳高原サロンコンサート」がスタート。第1回～第5回までは「ハケ岳高原ヒュッテ」で、第6回からは「ハケ岳高原ロッジ」で開催された。

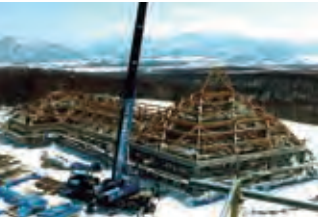
スヴァトスラフ・リヒテルの来郷



1984年、20世紀最大のピアニストと称されたスヴァトスラフ・リヒテルによる演奏会が実現。ハケ岳の環境を気に入ったリヒテルからの提案は、本格的なコンサートホールという機運を高めた。

ハケ岳高原音楽堂の誕生

1988年9月、スヴァトスラフ・リヒテルと、日本を代表する作曲家・武満 徹の助言のもと、ハケ岳高原音楽堂が完成。設計は日本建築の第一人者、吉村順三が統括。ヤマハ音響研究所、北野建設を交えた、綿密な計画と音響実験を経て、室内楽に適したコンサートホールとなった。



当初は年間10公演程度だったコンサートも、音楽堂完成から30年を経て、現在では年間60公演に拡大。クラシック音楽を中心に、ジャズ、邦楽、民族音楽、ポピュラー音楽など、多彩なジャンルを開催。



ハケ岳高原海の口自然郷

ハケ岳東山麓、標高1500mの森の中に広がる約200万坪の高原リゾート。人も自然の一部であると考え、自然と共に健やかに暮らしていくために、自然郷と名付け、約50年の歳月をかけて育んできました。



リゾートホテル「ハケ岳高原ロッジ」コンサート付宿泊プラン

好きな客室をお選びいただける、リゾートホテル「ハケ岳高原ロッジ」のご宿泊プランをご用意しております。コンサートの余韻と共に、ゆっくりとおくつろぎください。

宿泊プランに含まれるもの

- コンサートチケット ●ご宿泊 ●ご夕食
- ご朝食 ●サービス料・消費税

料金（1泊／1室2名さまご利用、お1人さま）

	ミツシャ・マイルスキー	ピアノ三重奏
	8/31	9/1
スタンダードA	42,300円	42,300円
スタンダードB	45,500円	45,500円
デラックス	50,600円	50,600円
スイート	86,200円	86,200円
夕食内容	ブッフェ	ブッフェ
		洋食コース

チェンバーミュージック・コレクション宿泊プラン

宿泊プランに含まれるもの

- ご宿泊 ●ご夕食 ●ご朝食
 - サービス料・消費税
- ※コンサートチケットは別途お求めください。

料金（1泊／1室2名さまご利用、お1人さま）

スタンダードA	22,450円
スタンダードB	26,000円
デラックス	31,200円
スイート	65,650円
夕食内容	洋食コース

※上記以外のルームタイプもございます。
※ルームタイプによって1室1～4名さままでご利用いただけます。
※日によって、プランのご夕食内容が異なります。（料金表参照）

30年の軌跡に導かれる

秋のクラシック音楽祭

2018年8月31日(金)・9月1日(土)
ミツシャ・マイルスキー チェロのタベ

2018年9月8日(土)
郷古 廉・横坂 源・北村朋幹 ピアノ三重奏

2018年9月15日(土)・16日(日)
ハケ岳チェンバーミュージック・コレクション

2018年9月22日(土)
ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノのタベ

2018年9月23日(日・祝)
小林道夫 チェンバロ・リサイタル

2018年9月29日(土)
山本耕平 テノール・リサイタル

主催：ハケ岳高原ロッジ
協力：株式会社そごう・西武

交通のご案内

JRご利用の場合

新宿駅

中央本線 (約120分)

小淵沢駅

小海線 (約35分)

野辺山駅

東京駅

北陸新幹線 (約80分)

佐久平駅

小海線 (約90分)

送迎バスで約15分

野辺山駅

JRご利用の場合

名古屋駅

中央西線 (特急約120分)

塩尻駅

中央東線 (特急約40分、普通約60分)

小淵沢駅

小海線 (約35分)

野辺山駅

送迎バスで約15分

野辺山駅

自動車ご利用の場合

中央自動車道

長坂IC

国道141号 (約40分)

小諸方面へ

中央自動車道

須玉IC

国道141号 (約45分)

清里・葦崎方面へ

八千穂高原IC

中部横断自動車道

八千穂高原IC

小諸方面へ

お問い合わせお申し込み

TEL 0267-98-2131

FAX 0267-98-3133

WEB http://www.yatsugatake.co.jp



www.seibu.jp



www.sogo-gogo.com